

## 1. 2023 年報告

新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、2023 年はおおよそ 3 年間猛威を振るったコロナ禍がようやく落ち着き始め、ここパプアニューギニア (PNG) においても、JICA 事業が再び以前と同様に進められるようになりました。

2024 年 1 月現在、当地では有償資金協力事業 2 件、技術協力プロジェクト 10 件、個別専門家 3 件、海外協力隊 5 名、民間連携事業 2 件、日本での長期研修員 32 名を実施中/派遣中です。その他、文化無償資金協力事業 1 件も実施準備中です。

以下では、2023 年の主な事業成果を振り返ります。

### (1) ナザブ・トモダチ国際空港の開港



写真① ナザブ・トモダチ国際空港の外観

2023 年 10 月 2 日、有償資金協力で支援した「ナザブ・トモダチ国際空港」の開港式典が行われました (写真②)。本事業は工事着工後まもなくして、コロナ禍による影響とその後の物価高騰など数々の困難に直面しましたが、関係者の皆様の努力のお陰で無事完成することができました。式典にはパプアニューギニア政府からはマラペ首相はじめ多くの閣僚の皆様が、日本側も堀井外務副大臣 (当時) や渡邊大使が出席されました。マラペ首相からは、「この空港は両国の友好の証しであり、



写真②

今後とも日本とは深い絆で結ばれることを願う」と発言がありました。実際、この空港がナザブ「トモダチ」国際空港の名称になったのはマラ

ペ首相の発意でした。

今回の整備事業を経て同空港の安全性や利便性が向上した他、今後、パプアニューギニアで 2 番目の国際空港として、乗客数や貨物取扱い量はこれまでのおおよそ 2 倍となることが期待されています。

### (2) JICA 海外協力隊の派遣再開

JICA 海外協力隊 (JOCV) はコロナ禍の影響を受けて、2020 年 3 月に一旦全員が退避となりました。2023 年 8 月、待望の新規隊員 3 名が派遣と



写真③

なり、当地での協力隊事業の再開となりました (写真③)。これら 3 名は首都ポートモレスビーから約 40km 離れたソゲリ村で小学校や高等学校の教師として活躍しています。なお、PNG での海外協力隊派遣は 1980 年に派遣が開始され、今回の 3 名でちょうど 800 名となりました。当地では 1 月現在 5 名の協力隊員がおり、3 月までには新たに 3 名が派遣される予定です。

### (3) 教育セクターでの協力

PNG における児童の算数、理科の能力を上げるため、2020 年から「初等理数科教員養成校強化プロジェクト」を実施中です。同プロジェクトでは、初等教員養成校における理数科の学生用教材及び講師用指導書を開発することにより、全国 15 の初等教員養成校の理数科講義の質の改善を図り、初等教員養成校学生の理数科指導力向上を目指します。また、2016 年から 19 年にかけて行われたプロジェクトでは、PNG で初の算数、理科の国定教科書 (3 年～6 年生用) を製作しました。現在、製作した教科書に準拠した算数ワークブックの販売実証のための事業も学校図書株式会社との連携で実施中です。加えて協力隊 (小学校教師等) と連携しながら事業効果の拡大を行っています (写真④)。



写真④

#### (4) インフラ維持管理能力向上への取り組み

PNG では、電力、道路、港湾それぞれのセクターでインフラ施設の維持管理に携わる政府職員に対して維持管理能力の向上プロジェクトを実施しています。

「電力系統計画・運用能力向上プロジェクト」では、新規電源の開発が見込まれる PNG において、電力系統計画策定能力や送電線、変電所の維持管理能力の強化を行うことにより、電力系統の信頼性及び電力供給の安定化と質の向上を図っています。2023 年 11 月には送電網の維持管理に必要な検査機器を PNG 電力公社に供与しました。

#### (5) 保健分野での取り組み

当国では、現在もリンパ系フィラリア症の感染が確認されています。「フィラリア対策プロジェクト・フェーズ 2」では、保健省とともに PNG の 7 州においてフィラリア撲滅に向けた事業を行っています。2023 年は西ニューブリテン州において集団投薬(MDA)を行いました(写真⑤)。



写真⑤

#### (6) 環境分野での取り組み

これまで大洋州では 9 ヶ国を対象に廃棄物管理事業を行ってきましたが、2023 年 7 月には「大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト・フェーズ 3」が開始されました。PNG では主にポートモレスビーにおける廃棄物管理計画の策定や、それに基づいた廃棄物収集、最終処分場であるバルニ処分場の管理能力向上を行ってきました。フェーズ 3 では、これらの成果をレイ市等の 4 都市に拡大するとともに、リサイクル促進に向けた取り組みを行う予定です。また、ポートモレスビーの高校生に環境管理の重要性を学んでもらうことを目的として、JICA が支援したバルニ処分場の他、下水道処理施設の見学ツアーも行い、現地メディアでも報道されました(写真⑥)。



写真⑥

森林分野では、森林伐採モニタリングシステムの改善を通じた商業伐採による森林劣化を防ぐ取り組みを行っています。2023 年は当地の PNG 森林公社職員に対して、森林伐採規則(LCOP)や天然林伐採計画・管理手続き(PMCP)を遵守するための研修を行いました(写真⑦)。



写真⑦

当地における持続的な森林管理を行うことにより、気候変動対策にも貢献することが期待されています。

#### (7) 長期研修員による成果発表

日本で学位(主に修士号)を取得した長期研修員が 7 月に 3 名、11 月に 6 名がそれぞれ帰国報告を行いました。これら研修員の専攻は様々で、PNG の外交や経済の他、森林資源管理、コロナ禍での子どもの栄養、移民政策についての研究発表もありました(写真⑧)。



写真⑧

#### (8) JICA チェア

パプアニューギニア大学(UPNG)において日本の近代化について学ぶ講義「JICA チェア」が 2022 年に引き続き 2023 年も開催されました。2023 年 5 月には国際大学の加藤副学長が当地で講義を行い、UPNG のみならず、レイやゴロカの大学ともオンラインで参加して講義が開催されました。

#### (9) 田中 JICA 理事長の PNG 訪問

2023 年 4 月、田中 JICA 理事長が当地を訪問しました。当地ではマラペ首相はじめ、ロソフ副首相、スタッキー財務大臣(当時)等と面談した他、JICA 事業の視察も行いました。また、JICA チェアを開催している UPNG も訪問し、学生たちと意見交換を行いました(写真⑨)。田中理事長の訪問は当地報道でも大きく取り上げられました。



写真⑨

#### (10) ジェンダー主流化への取り組み

JICA パプアニューギニア事務所では、ジェンダー主流化に向けた取り組みの一環として、所内のみならず事業関係者に対して性的ハラスメントの防止に向けたセミナーを開催しています。また、PNG で活躍する女性の FB での紹介や世界女性の日のイベントも首都圏庁(NCDC)と共催しました。

#### (11) 2024 年の抱負

PNG における日本の ODA 事業は 1974 年に始まり、今年で 50 周年となります。2024 年は、これまでの事業の更なる進展を行い、PNG の発展とともに、日本との関係強化、さらには地域の発展に向け、関係者の皆様とともに、パプアニューギニア事務所員一同、更なる努力をしていく所存です。

## 2. トピックス: 現地関係者からひとこと

当地で活躍する専門家や、JICA 海外協力隊をご紹介します。

### 【専門家】

#### 開発計画アドバイザー 大原 克彦 専門家



国家計画モニタリング省 (DNPM)、財務省 (DOT) の 2 省庁へ派遣されている大原です。DNPM では、開発計画の策定や日本の技術協力・無償資金協力事業を円滑に進めるために、効果的な実施促進を支援しています。DOT では、有償資金協力事業の円滑な実施促進と借款の返済業務の支援をしています。PNG では時間や締め切りに寛容な方が多いため(?)、手続き等が遅れがちですが、何事も速やかにできるように、組織の強化支援をしています。

#### フィラリア対策プロジェクト・フェーズ 2

##### 山内 祐人 チーフアドバイザー



2023 年 4 月に PNG 保健省のフィラリア対策専門家チーフアドバイザーとして着任しました。象皮病を引き起こすリンパ系フィラリア症の感染の連鎖を断ち切り、将来において罹患する人を 1 人でも減らすことを目指して活動しています。PNG は JOCV でのフィラリア対策の活動や大学院でのマラリア研究などで 2010 年以来的の長い付き合いですが、未だに新しい発見の連続です。地球最後の楽園と称されるここ PNG を楽しみつつ 1 つ 1 つ物事を進めていきたいと思えます。

### 【JICA 海外協力隊】

#### 戸高 将 隊員 (小学校教育)



ソゲリ小学校で、5 年生の子ども達に算数を教えています。彼らはとても意欲的で、一生懸命勉強しています。写真は、平行四辺形の面積を求める学習です。各自が平行四辺形を 2 つに分解したり組み合わせたりして長方形を作って面積を求めました。子ども達自身が実際に活動して問題を解決したことに大きな意義があります。「平行四辺形の面積 = 底辺 × 高さ」の公式まで導き出した時、教室は子ども達の喜びと満足感で充ち溢れました。

#### 内山 翔太 隊員 (青少年活動)



2023 年 9 月にソゲリ小学校に青少年活動隊員として着任しました。主な活動は日本の小学校とソゲリ小学校をオンラインで繋いだ交流授業や環境教育啓発、算数の授業支援を担当の先生とともに行うことです。PNG の人々は純朴で人懐っこい人が多く、村の道中を歩いているといつも笑顔で手を振って挨拶してください。日本と PNG 二国間の掛け橋になることを目指して日々活動しています。PNG は海が綺麗なため休暇中はダイビングに行っています。

#### 鈴木 健斗 隊員 (野菜栽培)



2023 年 8 月から高校で農業を指導しています。主な活動は圃場での実習です。この国の農業者を増やしたいという気持ちで生徒たちと畑作りをしています。水資源が豊富で土地も広大にあるので農業の可能性を生徒たちに教えられるよう頑張ります。約半年経過してピジン語で冗談を交えるくらいまで成長しました。PNG のジョークは私好みなので理解できるようになって嬉しいです。しかし、モツ語はまだ挨拶程度しか覚えられてません。

#### 田中 聡史 隊員 (PC インストラクター)



去年 11 月からパプアニューギニアに滞在しています。今年 2 月よりクイキラ高校で IT クラスを教える予定です。クイキラは、車でポートモレスビーから 2 時間の距離にあります。この国に来て感じた特徴は、気温が高く、多くの植物や自然があることです。パプアニューギニアの人々は、私が歩いているときに親切に話しかけてくれることがよくあり、地元の人々と接しやすと感じています。この 2 年間で良い経験を得られることを願っています。

#### 西垣 魁人 隊員 (コミュニティ開発)



2023 年 11 月に赴任しました。任地は首都から車で約 2 時間の位置にあるセントラル州クイキラで、12 月からここで生活しています。活動内容は小規模農家の収入向上や青少年向けプログラムの実施支援などの予定ですが、赴任後すぐに冬休みに入ってしまったため、休み明けから巡回などを始めたいと思っています。クイキラには市場があり、バナナや野菜の他、日本では見かけないワラビーも売られています。

### 3. 事業リスト

#### 3-1. 重点分野①： 経済成長基盤の整備

##### (1) 経済インフラ整備・維持管理プログラム

- (有償<sup>1</sup>)ナザブ空港整備事業  
L/A 調印 2015 年 10 月、借款契約額 269.42 億円  
<https://www.iica.go.jp/oda/project/PN-P11/index.html>  
[https://www.iica.go.jp/overseas/png/information/press/2023/1519597\\_14561.html](https://www.iica.go.jp/overseas/png/information/press/2023/1519597_14561.html)
- (技プロ<sup>2</sup>)ココボ・ラバウルにおけるインフラ開発計画策定プロジェクト  
実施期間 2022 年 1 月～24 年 3 月  
<https://www.iica.go.jp/oda/project/1800651/index.html>
- (技プロ)道路整備能力強化プロジェクト・フェーズ 2  
実施期間 2021 年 3 月～25 年 3 月  
<https://www.iica.go.jp/oda/project/1900298/index.html>
- (有償)ラム系統送電化網強化事業  
L/A 調印 2013 年 8 月、借款契約額 83.40 億円  
<https://www.iica.go.jp/oda/project/PN-P10/index.html>
- (技プロ)電力系統計画・運用能力向上プロジェクト  
実施期間 2022 年 3 月～25 年 3 月
- (技プロ)運輸省港湾政策及び行政能力強化プロジェクト・フェーズ 2  
実施期間 2022 年 3 月～25 年 3 月
- (専門家)公共投資管理アドバイザー  
派遣期間 2022 年 1 月～24 年 3 月
- (専門家)開発計画アドバイザー  
派遣期間 2019 年 9 月～24 年 3 月

##### (2) 産業振興プログラム

- (技プロ)資源収入管理能力向上プロジェクト・フェーズ 2  
実施準備中  
[https://www.iica.go.jp/information/press/2023/20231018\\_42.html](https://www.iica.go.jp/information/press/2023/20231018_42.html)
- (民連<sup>3</sup>)零細漁業者のバリューチェーンへの連結による小型船外機船市場創出の普及・実証・ビジネス化事業  
実施期間 2023 年 11 月～26 年 2 月
- (民連)軽節製造に関するニーズ確認調査  
実施期間 2023 年 3 月～23 年 12 月

#### 3-2. 重点分野②： 社会サービスの向上

##### (3) 教育支援プログラム

- (技プロ)初等理科教員養成校強化プロジェクト  
実施期間 2020 年 9 月～25 年 4 月  
<https://www.iica.go.jp/oda/project/1900299/index.html>
- (専門家)教育政策アドバイザー  
派遣期間 2022 年 2 月～26 年 1 月
- (民連)初等教育向け算数ワークブックを活用した学力向上にかかるビジネス化実証事業  
実施期間 2023 年 7 月～24 年 10 月  
[https://www2.iica.go.jp/ja/priv\\_sme\\_partner/document/1536/Bz22104\\_5\\_summary.pdf](https://www2.iica.go.jp/ja/priv_sme_partner/document/1536/Bz22104_5_summary.pdf)

##### (4) 保健医療プログラム

- (技プロ)フィラリア対策プロジェクト・フェーズ 2  
実施期間 2023 年 4 月～25 年 5 月  
[https://www.iica.go.jp/overseas/png/information/press/2023/1526224\\_14561.html](https://www.iica.go.jp/overseas/png/information/press/2023/1526224_14561.html)

- (技プロ)院内感染対策を通じた基礎的医療サービス向上プロジェクト  
実施期間 2021 年 7 月～24 年 3 月  
[https://www.iica.go.jp/overseas/png/information/press/2023/1526671\\_14561.html](https://www.iica.go.jp/overseas/png/information/press/2023/1526671_14561.html)

#### 3-3. 重点分野③： 環境・気候変動・防災

##### (5) 環境保全プログラム

- (技プロ)大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト・フェーズ 3  
実施期間 2023 年 7 月～28 年 6 月  
[https://www.iica.go.jp/activities/issues/env\\_manage/pamphlet/recycling\\_society.html](https://www.iica.go.jp/activities/issues/env_manage/pamphlet/recycling_society.html)
- (技プロ)森林伐採モニタリングシステム改善を通じた商業伐採による森林劣化に由来する排出削減プロジェクト  
実施期間 2022 年 4 月～25 年 4 月  
<https://www.iica.go.jp/Resource/project/png/009/outline/index.html>

#### 3-4. 課題別研修・長期研修

- 課題別研修  
2023 年度は、69 コース、69 名の研修員が課題別研修を受講予定です。
- 長期研修  
2023 年度は、日本の大学院において、以下の研修員が主に大学院修士課程を専攻中及び修了及び研修中です。  
SDGs グローバルリーダー:11 名修了、21 名研修中(2024.1 月時点)  
KIZUNA プログラム:1 名修了、3 名研修中(同上)  
Agri-Net プログラム:2 名修了、2 名研修中(同上)  
<https://www.iica.go.jp/activities/schemes/dsp-chair/dsp/course/index.html>

#### 3-5. JICA 海外ボランティア

現在、5 名の海外ボランティアが活躍中。3 月までに 3 名が追加予定です。  
[https://www.iica.go.jp/overseas/png/information/topics/2023/1526777\\_14562.html](https://www.iica.go.jp/overseas/png/information/topics/2023/1526777_14562.html)  
<https://www.iica.go.jp/overseas/png/information/topics/2023/20231120.html>

#### 3-6. JICA チェア

2022 年はオンラインでの実施でしたが、2023 年 5 月には対面講義が実現しました。国立パプアニューギニア大学に加え、UNITEC などの大学をオンラインで結び、多くの学生の間で日本研究への関心が高まりました。  
<https://www.iica.go.jp/activities/schemes/dsp-chair/index.html>

#### 3-7. ジェンダー主流化への取り組み

JICA 関係者に対して性的ハラスメントの防止セミナーの開催や、PNG で活躍する女性を FB での広報、PNGUN Women と共同でのイベント実施等を行っています。また、表紙右上のロゴはジェンダー主流化活動促進に向けて事務所デザインしたものです。

#### 3-8. JICA 研修員同窓会事業

現在、4,000 名超が同窓会に所属しており、同窓会ニュースレターの発行等の活動をしています。

JICA パプアニューギニア事務所  
2<sup>nd</sup> Floor, PWC Haus, Harbour City  
Port Moresby, NCD, Papua New Guinea  
P.O. Box 1660  
URL: <https://www.iica.go.jp/overseas/png/index.html>  
FB: <https://www.facebook.com/jicapng/>  
E-mail: [pn\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:pn_oso_rep@jica.go.jp)

<sup>1</sup> 有償: 有償資金協力

<sup>2</sup> 技プロ: 技術協力プロジェクト

<sup>3</sup> 民連: 民間連携事業